

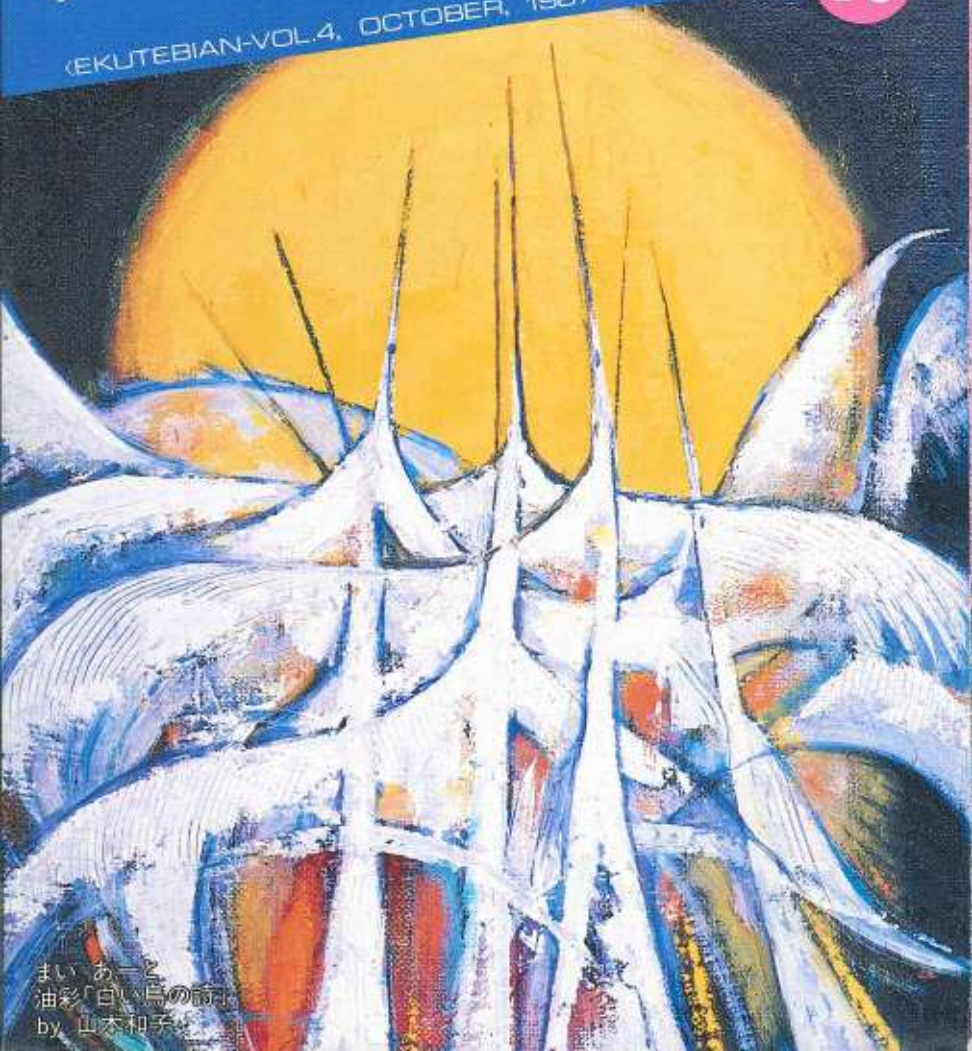
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.4, OCTOBER, 1987-EKUTEBIAN〉

10



まい あーと  
油彩「白い鳥の詩」  
by 山本和子



支那菊枝麵(寶来・錦町) 650円(大盛850円)

もの旨し秋になりました。だからと云って、慣れぬ顔つきでグル  
 メを気取るこたあない。ラーメンいきましよう、らーめん。この街  
 にもユニークならーめんが沢山あります。店主の「こころざし」高  
 き店があります。遠方より客あります。中華料理店の麺類とはひと  
 味が違った、専門店のココロイキが伝わりますでしょうか。



# らーめん こころざし



文焼肉拉麵(寶来・錦町) 550円(大盛700円)



中華そばとんこつスープ(あじまる・柴崎町) 380円



らーめん(宝来・錦町) 350円



らーめん(松中ラーメン、一番町) 400円



味噌ラーメン(こきんま大井・松町) 550円



担子焼肉のん(出羽矢・柴崎町) 400円

漢字テスト①

空欄に二字押入を試みよ。

欣喜 □ 躍  
順風満 □

給与振込は  
(ハートの銀行)

全国約360か店の便利さを  
ご活用ください。



第一勧業銀行

立川のモニュメント⑨  
日野の渡し碑



「日野の渡し」の出来たのは  
いつの頃だか誰も知らない。江  
戸時代中期貞享年間、この地に  
渡しに移されたことは、確かだ  
であろう……」

江戸時代、この渡しに着くと  
江戸を離れる人は遠くまで来た  
と思ひ、江戸に向う人は江戸に  
近いとホッとしたりとか……  
「甲州街道 日野の渡しは十  
三文」と言われたそうだが、現  
在の水量もさほど多くない  
多摩川を見ると、ここ  
をかつて小舟が渡ったと  
か、鵜飼いが盛んだった  
と聞くと不思議な気持ち  
になる。日野の渡しは、  
大正一五年、日野橋の架  
橋とともに消える。その  
日野橋も、今では交通量  
が増え渡帯が日常風景に  
なってしまった。(日・日)

◎日野橋架橋六〇周年を記念し、  
立川観光協会会長 三田鶴吉さん  
らの尽力により、昨年十月建立さ  
れた「渡し」にまつわるエピソード  
などは、記念誌「日野の渡し」  
(立川観光協会刊)に詳しい。

対談集『夢はゆめ色』

清水弘文堂から刊行

立川商工会議所が発行している  
月刊「とももろ」に創刊号から  
一年間連載された対談が、この度  
単行本にまとめられて「清水弘文  
堂」(東京・神田)より発刊、十月三  
日から全国書店で二斉発売される。  
タイトルは「夢はゆめ色」その  
名のとおり、高橋恵子さん(女優)、  
海老一染太郎・染之助さん(曲芸)、  
細江英公さん(写真家)らによって、  
こころを「夢いろ」に染めてくれ  
る楽しい対談集となりそうだ。



表紙は語る



「発想の源は太陽とか月、星  
海、山、雨、風など自然界のう  
つろいや、鳥や花などの小さな  
生命との触れ合いにあると、自  
分では思っているんです」  
とくに、鳥のイメージが強い  
ようにおもいますが……」

「白い鳥は、私の分身でもあり  
憧れの形でもあるんです。具  
象にいたしても、抽象に  
たしても、時の蓄積があっ  
て身内に内包されているものが  
なければ描けないんです」  
このお話をしてくださったの  
も、第五回多摩現展(八王子・  
そごう百貨店)の会場、山本さ  
んはここでも「水蓮の頃」と「砕  
けた月」の二作を出品されてい  
た。旺盛な創作意欲にも「自然  
の限りない輪廻のさまは、あま  
りにも壮大すぎて、私の小さな  
想いで満たすには難かすぎま  
す」と、謙虚な姿勢をくすさぬ  
あたりに、作品の魅力があるの  
かも知れない。

絵は教えていないが、「陶芸教  
室」をもっていて、10月8日か  
ら立川で生徒さんの作品展(伊  
勢丹前「錦春ビル」8F)も開  
かれるという。

真如苑だより

すっかり秋めきました。お  
元氣ですか。秋は色にたとえ  
ると「白」だそうです。「白秋」  
というはそのためです。  
この秋も、真如苑では皆さ  
まのお越しをこころからお待  
ちもうしあげております。

■日時 10月19日(月)  
午後2時~4時  
■御本尊、真如宝物館をはじ  
めとして映画など盛りだくさ  
んの用意がしてございます。  
■立川市民(成人)に限らせ  
て頂きます。  
■お申し込みは「えくてびあん」  
コンパニオン(本誌を  
手渡してく  
れた人)へ。



「夏、散る。」

記録的猛暑がつづいた今年の夏ですが  
甲子園の自熱線も暮れどし、立川では伝統の  
「諏訪まつり」ですっかり板についた「民謡流しおどり」に  
千人を超える市民が踊りまくり  
この街最後の夏の風物を愉しみました

工房から

●格別の暑さがおそった今年でし  
たが、過ぎ去ってみると、なにか  
愛おしくおもわれるのは何故でし  
ようか。●「民謡流しおどり」に写  
真家の三塚家義氏がおみえくださ  
り、シャッターを押してください  
ました。「夏、散る」の鳥瞰写真は  
同氏の撮影によるものです。●俳  
句の谷川水車さんからおたよりを  
頂戴いたしました。今年も「立川人  
展」をやるのでしたらと云ってお  
二人ほどご推薦をいただきました。  
もう、歳末の催しを心配いただ  
いている。有難い読者をもつたも  
のと、ただ感謝。もし、皆さまの  
なかにも、ご推薦いただけるよう  
な方、ご存じでしたら、ご一報の  
ほど。●なでしこの 岩つかみ咲  
く。えくてびあん。

刊えくてびあん 第39号  
昭和六十二年十月一日 発行  
発行所 えくてびあん編集工房  
東京都立川市柴崎町2-4-11  
ファインビルディング 3F  
電話 〇四二五〇〇82  
編集人 立井啓介  
発行人 沖野嘉男  
印刷所 株式会社立川印刷所

立川  
ANOKO  
KAWAIYA

# 看板娘

4

すっかりイタについた民謡流し踊り。あの娘おどれば心が踊る。あれ、エトランゼまで？

「和光証券」の辰原弥生さん



「たましん」の志村恵美子さん



「真知苑」の沢田智子さん



アイランドからはるばるとグレンシャープさんとテラニー姉妹。



「東京相互銀行」の上條裕子さん

「たましん」の田島里穂さん

「和光証券」の鈴木律子さん

「アイレディーズ」の西村あかねさん

